

第3学年 社会科学学習指導案

1 単元名 現代の日本と世界（冷戦の開始と植民地の解放）

2 教科研究主題との関連

本校社会科部会の研究主題は「多角的なもの見方・考え方のできる生徒の育成」であり、本単元では日本、アメリカやソ連のみならず様々な国の立場に立って考えることのできる生徒の育成をめざしている。

本時は、冷戦と冷戦がアジアに与えた影響について、既習事項である資本主義と社会主義の考え方の違いをもとに理解させる。授業では、資料から情報を読み解き、「なぜ」という疑問を生徒の中に生じさせ、発表や話し合いの場でその疑問の解決を行っていくよう進めていきたい。

3 本時の指導

(1) 目標 戦後のアジアの動きに関心を持ち、冷戦がアジアに与えた影響について考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)

(2) 展開 (本時 3/6)

時配 形態	学習活動と内容 (○表現する力を育成する取り組み)	支援及び指導上の留意点 ◎評価 (規準：方法)
5分 一斉	1 5問テストを行う。 ・前回の内容の復習をする。	・答え合わせの際、間違えた箇所の内容を確認し、復習するよう促す。
7分 一斉	2 ウクライナの写真を見せ、写真から気づくことを発表させる。	・同じ国の写真だが、様々な国の国旗が掲げられていることを確認する。
3分 一斉	3 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">なぜアメリカとソ連が敵対し合っているのか考えよう。</div>	
10分 個別	④ 第二次世界大戦後、アメリカとソ連が敵対し合った理由を、それぞれの立場から考察し、発表する。	・既習事項をもとに考えるよう助言する。
15分 一斉	5 冷戦の影響を受け、国内が2つに別れている国を用い、東西どちら側かを考える。また、なぜアメリカとソ連が介入したのかを推測する。	・冷戦の影響を受けて、現在も2つの国に分かれていることを確認する。 ◎冷戦がアジアへも影響を与えていたことについて考えることができたか。(思・判・表：発表)
10分 個別	6 本時のまとめを行う。 ・自分の言葉でまとめ、発表する。 ・他者の発表を聞き、まとめ方の違いに気づき、工夫の仕方を考える。	・ワークシートに自分の考えがまとめられたか、授業後に提出させて確認し、記入できない生徒には助言する。